

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)(案)

令和5年10月16日

協議会名: 清須市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>【補助対象となる事業者名等の名称を記載】</p>	<p>【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載】</p>	<p>【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】</p>	<p>A・B・C 評価</p> <p>【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】</p>	<p>A・B・C 評価</p> <p>【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載</p>
<p>清須市地域公共交通会議</p>	<p>オレンジルート 1便及び2~11便 西枇杷島会館~枇杷島駅~清須市役所~ヨシツヤ清洲店 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】</p>		<p>A</p>	<p>・収支率【未達成】(あしがるバス全体の収支率) 目標:8.9% 実績:8.7% ・利用者数(年間)【未達成】 目標:18,600人 実績:14,724人(前年比114.1%、コロナ前比100.6%) ・利用者数(1便あたり)【未達成】 目標:4.7人 実績:3.7人 《分析》 収支率については、利用者数は回復しつつある状況で運賃収入が増加している一方で、原油価格の高騰による燃料油費の増加の影響から、未達成となった。利用者数については、未達成となったが、前年比114.1%と大きく回復しており、鉄道駅や観光施設の利用者数はコロナ禍前の実績以上の利用がある。全体としてもコロナ前比が100.6%となり、利用控えの傾向がほぼ解消されていると推察する。</p>	
<p>清須市地域公共交通会議</p>	<p>グリーンルート 1~11便 豊公橋北~枇杷島駅~須ヶ口駅~新清洲駅~ヨシツヤ清洲店 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】</p>	<p>・市立小学校のバス乗り方教室や観光協会主催の五条川さくらまつりでのPR等、利用促進イベントの中で改正チラシを配布・紹介し、周知を行った。 ・各施設・駅等に配布したチラシや新しい時刻表は無くなった連絡を受けた際、追加で配布した。</p>	<p>A</p> <p>事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>・収支率【未達成】(あしがるバス全体の収支率) 目標:8.9% 実績:8.7% ・利用者数(年間)【未達成】 目標:29,000人 実績:26,464人(前年比106.9%、コロナ前比109.5%) ・利用者数(1便あたり)【未達成】 目標:7.3人 実績:6.7人 《分析》 収支率については、利用者数は回復しつつある状況で運賃収入が増加している一方で、原油価格の高騰による燃料油費の増加の影響から、未達成となった。利用者数については、未達成であったが、昨年、利用者数の回復が伸び悩んでいた商業施設や鉄道駅等の目的地となるバス停も利用増に転じ、完全にコロナ禍前を上回る実績が続いている。</p>	<p>今後も利用促進事業を継続し、利用喚起に注力するとともに、次期地域公共交通計画に向けて、アンケート調査を実施し、市民の移動実態やバス利用者の利用状況・ニーズを把握する。</p>
<p>清須市地域公共交通会議</p>	<p>サクラルート 1~11便 西枇杷島会館~枇杷島駅~清須市役所~はるひ呼吸器病院 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】</p>		<p>A</p>	<p>・収支率【未達成】(あしがるバス全体の収支率) 目標:8.9% 実績:8.7% ・利用者数(年間)【未達成】 目標:31,300人 実績:25,752人(前年比116.0%、コロナ前比99.0%) ・利用者数(1便あたり)【未達成】 目標:7.9人 実績:6.5人 《分析》 収支率については、利用者数は回復しつつある状況で運賃収入が増加している一方で、原油価格の高騰による燃料油費の増加の影響から、未達成となった。利用者数については、未達成となったが、前年度に比べると、商業施設や新設した鉄道駅のバス停の利用者が大幅に増加し、コロナ禍前の利用者数まで戻りつつある。また、コロナ禍により大きな影響を受けていた図書館や美術館、スポーツ複合施設なども徐々に回復している状況である。</p>	
<p>清須市地域公共交通会議</p>	<p>ブルールート 1便及び2~11便 ヨシツヤ清洲店~春日公民館~清洲駅~ヨシツヤ清洲店 【車両減価償却費等国庫補助金交付対象】</p>		<p>A</p>	<p>・収支率【未達成】(あしがるバス全体の収支率) 目標:8.9% 実績:8.7% ・利用者数(年間)【未達成】 目標:18,600人 実績:14,762人(前年比115.5%、コロナ前比95.2%) ・利用者数(1便あたり)【未達成】 目標:4.7人 実績:3.7人 《分析》 収支率については、利用者数は回復しつつある状況で運賃収入が増加している一方で、原油価格の高騰による燃料油費の増加の影響から、未達成となった。利用者数については、未達成であったが、利用者の半数近くを占める清洲駅とヨシツヤの利用者数がほぼコロナ禍前の実績まで回復しており、前年比115.5%と大きく回復した。</p>	

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年10月16日

協議会名:	清須市地域公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>清須市では、高齢者や主婦層等の移動制約者の交通手段を確保し、市内の移動利便性を高めるため、平成18年10月にコミュニティバスの運行を開始した。平成21年3月には、清須市地域公共交通戦略(以下、「戦略」という。)を策定し、平成27年3月には、戦略に基づき進めてきた公共交通の充実に向けた歩みをさらに推し進めていくために、清須市地域公共交通網形成計画(以下、「網形成計画」という。)を策定した。</p> <p>令和2年3月には、網形成計画の計画期間満了に伴い、現状の課題を踏まえつつ、まちづくりとの連携を図りながら、これまでの取組により形成してきた公共交通ネットワークを今後も持続的なものとするため、「清須市地域公共交通計画(以下、「公共交通計画」という。)」を策定した。</p> <p>また、公共交通計画に基づき、実際の運行を確保するため、清須市生活交通確保維持改善計画(以下、「確保維持改善計画」という。)を策定している。公共交通計画においては、清須市の交通将来像である「誰もが移動しやすいまち清須」の実現に向けた基本方針を掲げている。</p> <p>基本方針Ⅰ 既設の鉄道網を生かした地域公共交通ネットワークの形成 基本方針Ⅱ 地域公共交通を利用しやすい環境整備の推進 基本方針Ⅲ 地域公共交通事業推進のための関係者の連携</p> <p>今後も、アンケート調査等を実施し現状課題の把握・改善に努めるとともに、確保維持改善計画及び公共交通計画に基づき、公共交通の充実に向けた事業を推進していく。</p>